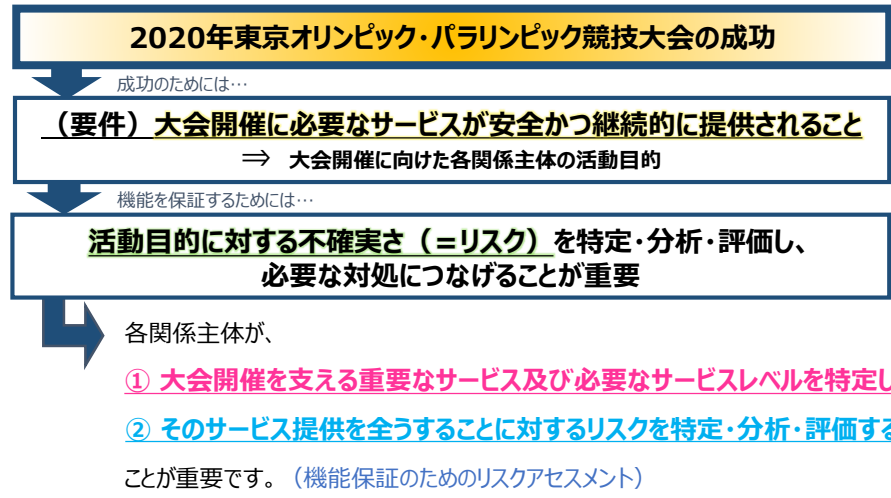


# 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたリスクアセスメントの全体像

## 基本的な考え方

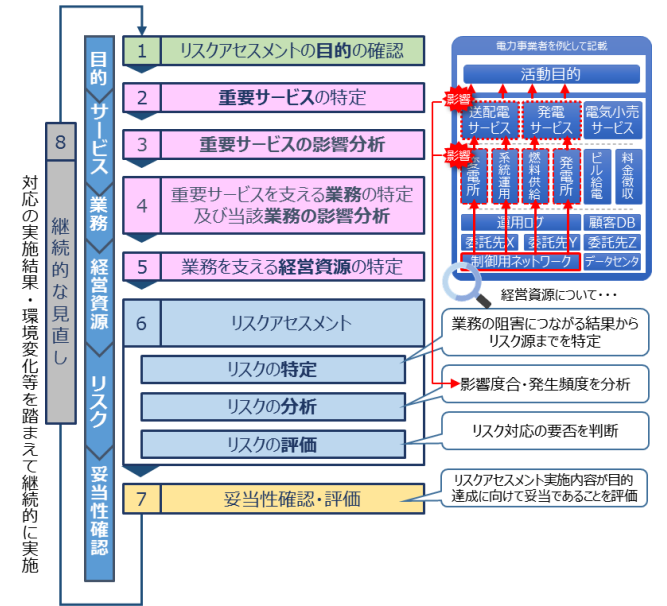
全世界からの注目を集める2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を直接的・間接的に支える重要なサービスを提供する事業者の皆様には、その **サービスを安全かつ継続的に提供**することが期待されます。そのために必要な措置を皆様自身で講じられるようにするためには、リスクを特定・分析・評価することが必要です。

(イメージ)



## 機能保証のためのリスクアセスメントの枠組み

「機能保証の観点から、事業者等が社会経済システムの中で果たすべき役割・機能を発揮するために**維持・継続することが必要なサービスを特定**」し、その「サービス提供の維持・継続に必要な**業務や経営資源に係る要件を分析・評価**」した上、これらに影響する「**事象の結果からリスク源までを分析**」していきます。



## 対象とするリスク

情報、情報システム、制御システム等の情報資産に係る事象の結果（自然災害やサイバー攻撃等に起因する I T 障害）から認識されるリスクを対象とします。

## 大会に向けたリスクアセスメントのスケジュール

- 2020年まで継続的に複数回の実施を想定
  - 事業者は、前回からのリスクアセスメントの見直しや、リスク対応の実施状況などを確認
  - NISCは、得られた知見を基に、コンテンツの拡充や支援策などを検討
- 第1回（2016年度）：
  - 東京23区エリアの事業者が対象
  - 品質担保のため、NISCはリスク評価の結果として、事業者からレポートを受領
  - NISCは、事業者が自主的にリスク対策の実施を行えるように支援

